



議会図書室からのお知らせ

今月の新着図書
R5年11月

『2035 10年後のニッポン ～ホリエモンの未来予測大全』

堀江貴文【著】/徳間書店 (2023/7)



「恐れるか、楽しむか。未来を知れば希望がわく!」ホリエモンが社会保障・老後問題・メタバース・エネルギー問題・働き方など、私たちの暮らしに直結するトピックに「本気」で切り込み、これからの生き残り方を示唆する。

話題

『スマホ・デトックスの時代 ～「金魚」をすくうデジタル文明論』

ブリュノ＝パティノ【著】/白水社 (2022/10)



「プラットフォームビジネス」が人工知能を駆使し広める、恐るべき収益モデル「アテンション・エコノミー(関心経済)」。その罠に陥ることなく、デジタルメディアと健康的につきあう方法を解説。テック企業に監視され生きる現代人を「金魚」になぞらえ「関心の奴隷化」の進む時代に警鐘を鳴らす。

デジタル文明

『冒険の書 ～AI時代のアンラーニング』

孫泰蔵【著】/日経BP (2023/2)



数々の問いを胸に「冒険の書」を手にした「僕」は、時空を超えて偉人たちと出会う旅に出る。そこでわかった驚きの事実とは。起業家 孫泰蔵が「最先端AI」に触れて抱いた「80の問い」から生まれる「そうか!なるほど」の連続。いつしか迷いが晴れ、新しい自分と世界が始まる!

AI/教育

『越境学習入門 ～組織を強くする「冒険人材」の育て方』

石川恒貴・伊達洋駆【著】/日本能率協会マネジメントセンター (2022/3)



企業がどうすれば困難を楽しめる「冒険人材」を育て、その力を企業が前進する力にできるかを、企業における「越境学習」の研究を通して著した書。「冒険者」と共に自らも「冒険者」になる志のある方にお勧めの書。

人材育成

『替えがきかない人材になるための 専門性の身につけ方』

国分峰樹【著】/フォレスト出版 (2023/7)



「ジョブ型雇用」の時代に替えのきくジェネラリストでは生き残れない。いかに個性的な「専門性」で戦えるビジネスパーソンになれるかが、生き残るための鍵となる。ビジネスパーソン×大学講師の著者の知見と経験から、生涯活かせる「専門性」の身に付け方を解説。

キャリア

『何が投票率を高めるのか ～エビデンスから投票率向上の環境要因を読み解く!』

松林哲也【著】/有斐閣 (2023/8)



「期日前投票期間」や「投票所の数」、「選挙啓発活動」や「議員定数の不均衡」などの「投票環境条件」に注目し、それらがどのように「投票率」に影響を与えているのかを実証的に論じる。女性や若者の政治参加、また広く投票や政治に関心のある方必読。

選挙

『新しい戦前 ～この国のいま“を読み解く”』

内田樹・白井聡【著】/朝日新聞出版 (2023/8)



「防衛対策」を大転換した現政権の狙い、激化する米中対立や泥沼化するウクライナ戦争が意味するものは。また長年の「一強体制」が日本社会に何をもたらしたのか。国内外の行く末を読み解き、混沌の時代に取るべき策を徹底検証する。

政治

『なぜ豊岡は世界に注目されるか』

中貝宗治【著】/集英社 (2023/6)



兵庫県豊岡市が今、世界的に話題となっている。インバウンドが急増し、地元演劇祭も経済効果を上げており、「移住したい街」として国内外から注目されている。人口減少・産業衰退の中で、地方が輝きを放つ方法とは?元市長である著者が全国自治体にも応用可能な視点を示し、秘策を綴る。

地方再生

『どうすれば日本人の賃金は上がるのか』

野口悠紀雄【著】/日本経済新聞出版 (2022/9)



他の先進国と比べ、賃金の安い国となった日本。「物価は上がるが賃金が上がらない」現状が生活を追いつめる。どうすればこの状況から脱することができるか。独自のデータ分析により長期的な賃金停滞の根本原因を明らかにし、日本経済の再活性化に真に必要な施策は何かを考える。

労働問題

▶トピックス「若者・子どもの居場所」に関する書籍

『ルポ 消えた子どもたち
～虐待・監禁の真相に迫る』

新着

NHKスペシャル「消えた子どもたち」取材班【著】
/NHK出版 (2015/12)



虐待・貧困・保護者の精神疾患等によって監禁や路上・車上生活を余儀なくされ社会から「消えた」子どもたち。大規模アンケート調査で明らかになった実態を伝え、当事者の証言から悲劇を防ぐ方途を探る。2014年に放送され反響を呼んだ番組の取材をもとに大幅に加筆。

『不登校の子どもとフリースクール
～持続可能な居場所づくりのために』

武井哲郎 他【著】/晃洋書房 (2022/10)



不登校の子どもたちの居場所をつくってきた民間のフリースクール。その運営を手がけてきた「実践家」とフリースクールに関心を寄せる「研究者」が共同で執筆。事業継続のための葛藤と格闘、現場の苦悩や失敗に学ぶ。

『ヤングケアラー
～介護する子どもたち』

加藤明・寒竹泉美【著】/ダイヤモンド社 (2022/9)



新聞労連ジャーナリズム大賞・優秀賞を受賞した、毎日新聞連載「ヤングケアラー幼き介護」の書籍化。全国に3万人以上いるとされている「ヤングケアラー」について、明らかになった経緯とその実態を描く。

『つながり続けるこども食堂』

湯浅誠【著】/中央公論新社 (2021/6)



誰ともつながれず孤立感を抱える人の多い現代社会に、誰にでも開かれた「こども食堂」は、地域の新たな多世代交流拠点・居場所として注目され続けている。全国のこども食堂を支援する著者が、その現状とその可能性について書き上げたルポルタージュ。



図書広報委員がおすすめする一冊

『首都防衛』



紹介者：秋山 健太郎 委員

著者：宮地美陽子／講談社 (2023年)

自由民主党・太田市選出・2期

今から約320年前、現在の関東地方を急襲した元禄大地震。震度7相当の強い揺れにより死者は1万人を超えたと伝えられる。その4年後、駿河湾から四国沖までの広範囲で震度7相当の宝永地震が発生。現在の大阪を中心に死者は2万人を超えたとされている。そしてその直後に富士山の噴火活動が始まり、宝永の大噴火が発生した。

元禄から宝永年間に起きた巨大地震と富士山噴火の大連動が現代に起こったらどうなるのか。その最悪のシュミレーションを東京都知事政務担当特別秘書で災害と防災のスペシャリストとして活躍する宮地美陽子氏が書き下ろした。ぜひご一読を。

次号では、亀山 貴史 委員におすすめしていただきます！



議会事務局政策広報課 (議会図書室)